

平成 27 年 2 月 5 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・エネルギー・マネージャー 橘高 公久  
電話番号 03-5572-0233

アラブ首長国連邦アブダビ  
ナスル油田の生産開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のジャパン石油開発株式会社（以下、JODCO）を通じて、アラブ首長国連邦アブダビ海上において、アブダビ国営石油会社（以下、ADNOC）、BP社、トータル社とともにナスル油田の生産開始に向けて開発作業を実施しておりましたが、2015年1月24日にナスル油田の生産を開始しましたので、お知らせいたします。

ナスル油田はアブダビ市の北西約130kmの沖合に位置します。このたびのナスル油田からの原油の生産は、第一次開発分として近傍のアブアルブクーシュ（ABK）油田やウムシャイフ油田の既存施設を利用して生産を開始したものであり、現在作業を進めている全体開発完了後の生産量は最大日量6万5千バレルを見込んでおります。

ナスル油田から第一次開発分として生産された原油は、原油出荷施設のあるダス島に既存海底パイプラインで搬送され、ダス原油として日本をはじめとするアジアの需要家などに供給されます。

当社は、子会社のJODCO及びインペックスエービーケー石油株式会社を通じて、ナスル油田のほか、ウムシャイフ油田、下部ザクム油田、ウムルル油田(\*1)、上部ザクム油田(\*2)、ウムアダルク油田、サター油田、ABK油田から原油の生産を行うなど(\*3)、アブダビにおいて40年以上にわたり事業を展開しております。また、同国において人材育成などの分野で社会貢献活動を行っております。

当社は今後とも、アブダビにおける石油開發生産事業や社会貢献活動に積極的に取り組んで参ります。

# 国際石油開発帝石株式会社

## **INPEX CORPORATION**

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

(\*1)ウムルル油田につきましては、同油田の生産開始に関する2014年10月17日の当社プレスリリースもご参照ください。<http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20141017.pdf>

(\*2)上部ザクム油田につきましては、同油田の権益延長等に関する2014年1月21日の当社プレスリリースもご参照ください。<http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20140121.pdf>

(\*3)当社権益比率は、ウムシャイフ油田、下部ザクム油田、ウムルル油田、ナスル油田、上部ザクム油田、ウムアダルク油田は12%、サター油田は40%、ABK油田は25%です。

以上